

令和6年度第1回県立都市公園利活用等推進有識者会議 議事録

1 日時

令和6年8月23日（金）

- (1) 現地調査：11時00分から13時30分まで
- (2) 有識者会議：14時から15時15分まで

2 場所

- (1) 現地調査：県立花巻広域公園・県民ゴルフ場
- (2) 有識者会議：県立花巻広域公園管理事務所会議室

3 出席構成員（敬称略）

内田尚宏、吉田基、工藤健人、五味壮平
（欠席構成員：杉村一郎、佐々木史恵）

4 現地見学会

○有識者会議（現地見学会を含む）の公開

本日の会議（現地見学会を含む）の公開の可否について有識者会議に諮った結果、公開することに決定した。

○現地見学会の実施

次第のとおり、沢水原水・第一ろ過、イギリス海岸、イベント広場、ちびっこ広場、展望台、ジャブジャブ池、ゴルフ場、運動広場、テニスコートの見学を実施した。

5 議事

- (1) 県立花巻広域公園の利活用の推進について
- (2) その他（⇒特に議題なし）

.....

議事(1) 県立花巻広域公園の利活用の推進について

○ 冒頭、指定管理者である公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団から、資料により説明した。

【概要】

- ・令和5年度は利用者数と施設利用料ともに目標値を達成できず7割台にとどまった。
- ・春祭りは令和5年度と比較して3,000人増加し、花巻市近辺のみならず沿岸地域や県外参加者もいた。ネイチャーゲーム（自然学習）は開催回数の増加の要望があった。
- ・ふくろうの会のポイント特典の景品を見直し、花巻温泉の無料入浴券や全農岩手のギフト券を配布した。楽天GOLAの導入により、中高年・常連じゃない利用者が増えたと分析される。
- ・公園の自主事業としては、イベントの充実化、新規イベントの導入、体験プログラムの実施などを行った。具体的には、季節ごとのイベントの開催、出店数の増加、自然体験プログラムの導入、バレーボールなどのスポーツ用品の貸し出しなどを実施した。
- ・レストハウスの業者が撤退したことに伴い、キッチンカーの導入が増え利用料収入が

増えた。ゴルフ場は利用者数が対前年度比で減っているが、ネット予約が利用者の大幅減数を食い止めた。グリーンフィーが上がり収入も高まった。

座長

ありがとうございました。今の説明について、県の方から補足があれば。

事務局（岩手県都市計画課）

事務局から補足説明として、花巻広域公園に係る令和5年度管理運営状況評価の結果について簡潔に1分程度で説明させていただきます。お手元の「令和5年度県立都市公園の管理運営評価について」という資料をご覧ください。こちらの資料については、6月下旬にすでに構成員の皆様にはご送付しているところですが、県では指定管理者制度を導入している施設の管理運営状況について、指定管理者から報告を受け、評価を実施し、公表することとしております。

花巻広域公園の令和5年度の管理運営状況につきましては、(1)業務の履行状況、(4)サービス提供の安定性・継続性がB評価としております。

(1)業務の履行状況につきましては、花巻広域公園において集客に向けた取組みを実施して頂いていますが、公園及びゴルフ場等の利用者数が目標値に達しておらず減少傾向であり、また、今年1月に開催された有識者会議においても、広域からの集客が望まれるといった意見もありましたことから、B評価としております。

また、(4)サービス提供の安定性・継続性につきましては、公園・ゴルフ場ともに事業収支がマイナスとなっており、ここ数年を見ても事業収支が厳しい状況にあります。また、今年1月に開催された有識者会議においても、集客活動には力を入れているがゴルフ場の収入が厳しい等の意見がありましたことから、B評価としております。

事務局からの補足説明は以上となります。

座長

それでは今の説明等を受けまして、構成員の方から、今後よりよい利活用推進に向けて意見を伺いたいと思いますけども、今日現地を見てきた中で、感想も交えて意見をいただければと思います。

A 氏

Aと申します。本日は丁寧にご説明・ご案内頂きまして大変ありがとうございました。ここ数年事業団さんの運営に対する取組みについて、素晴らしいなと感じておまして、我々構成員の意見も聞いて取り入れて頂いている。正直あきらめムードを感じていたときもあるのですが、そこをもう一度奮い立たせて頑張っていっているのかなと感じました。

みんな共通認識だと思うのですが、非常に、社会経済情勢から利用者や利用料をあげていくのは厳しいというのは共通認識だと思う。その中で何とかしようと取組みの努力、それが成果につながっておりますので、第三者としては評価したいなとは思っております。

その中で強いて言わせていただければ、公園全体が公共の福祉のためにあるため収益を上げていくのは難しいと思うが、その中でも収益を上げていくにはゴルフとテニスだと思います。こちらの収益を上げていくには。だがそこが中々難しい。シンプルに考えると施設やサービスが、同じサービスを提供する他の競合施設よりも劣っているからです。それは今日みさせていただいたところでも明らかで、県財政の問題もあると思いま

すけど、直すところは直すという取組みをしていかないと、人集め、集客は難しいのではないかと思う。基本的な考えで、皆様もそう思っていると思います。特にテニスは前から言われているところだと思いますけども、あれではちょっと、継続自体もどうなのかなと、傍から見るとですね。花巻のテニス愛好家の方たちは我慢してやってらっしゃるのかなと感じる。危険というところもありますので。特に有料サービスを提供している部分については、なんとか岩手県さんにご理解頂いて、引き続き修繕の要望を頑張っ
て頂きたいと思います。

あとは、施設のせいになると自分たちの努力が、モチベーションが下がってしましますので、その他ソフト面で工夫されているところ沢山あると思いますけど、世の中のニーズとのズレというのは、どうしても公共施設だからあると思います。テニスもハードコートといった話もありましたけれども、主流ではないわけです。ニッチなところでそういった戦略もあるかもしれませんけれども。ゴルフについても、中高年、特にゴルフは高齢者のスポーツですので、利用者が減っているのは当然ですよ、年齢が高い層ですから。なんととっても人口も減っていつているわけですから。とはいっても、他のゴルフ場ではおそらく平日から高齢者でにぎわっているはずなんですよ。それと比較して、平日休日と比べて、平日の利用が極めて少ないのではないかと思われる。今日は天気もあるが一人しか見かけませんでした。それには多分理由があると思う。分析されているとは思いますが。一番の理由は乗用カートが無いからではないか。高齢者が足腰弱ってきてとか。致命的なことは何個かあると思うのですが、ではどうすれば良いか。答えは出ないですけども、電動のカートは導入されているが別料金だと使う人がいるのかどうかとかな、難しいところだとは思いますが、細かな努力がうかがえるので、引き続き利用者のニーズを細かく見ながら対応していくしかないのではないかなと思う。

あと、ネット予約の効果が出ているようですけども、やはり若い方、60歳未満の方の利用が8割という説明がありましたけれども、週末に偏るのではないかなと。やはり平日に来られる方は高齢者なのではないかなと。公園そのものが土日と平日で、今日も見たとおり天気のせいにもできますが、どうしても週末に利用者が偏ってしまう。しょうがない、永遠の課題だと思うが、平日の利用も増やさないと資金が投入されているわけですから。そういったことで卓球場の利用とか工夫されているのが良くわかりますので、きめ細やかな取組みで施設の稼働率を上げていく努力をぜひ継続して頂きたいと思っております。所感でございました。

座長

ありがとうございました。色んな取組みを新たに始めて頂いておりまして。

A 氏

一つよろしいでしょうか。楽天の手数料ってどうなのでしょう。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

7月までは手数料が千円単位の10%だった。通常料金よりも若干金額を下げた形でネット上計上してくれと言われておりまして、千円単位というところに目をつかまして、4,100円が通常料金としたときに200円引いて3,900円として、予約をしてもらう。千円単位の10%ですから300円の手数料を楽天におさめる形になっています。先ほど申し上げましたとおり、こちらに初めて来ていただいたお客様が数多くいらっしゃいますので、今まで楽天にリアルタイム予約を掲示していなかったことを考えると、そういった手数料を楽天の方に納めたとしても、それ以上に我々には身入りの方があるのかなと受

け止めております。

あと先ほど先生の方から、事業団としては非常にありがたい県の方に理解して頂いて修繕の予算確保をしていただくというところで、我々の方からは強烈に要望はこれからもしていきたいと思っております。

ゴルフ場の収益を上げるため、高齢者の利用者が来なくなる理由の一つで乗用カートの話がありましたが、これは特にコンペなどに来ていらっしゃる方々から声があることもあります。ただ、もしこれを、乗用カートを導入することとなると、乗用カートそのものもそうなのですが、コース整備をやらなければならない。いわゆるカートが通る道路をつくらなければならないという大きな問題がまず一つあります。あと、高齢者の方々の中には、この県民ゴルフ場は健康づくりに良いゴルフ場なのだとおっしゃっていただいているお客様もおります。つまり、乗用カートで楽しんで回るのではなくて、自分で手で押して足腰を鍛えるという、そういうような意味合いもあるゴルフ場の一つとして私たちは来ているのだとおっしゃっていただいているお客様もいます。ただ、今電動カートと手押しのカートがそれぞれありますけれども、それも実は相当古くなってきています。20台あるうちの4台は部品交換にしかないようなカート、残り16台のカートというところでございまして、コンペの一番多い組数でいうと18、19という組数になってしまっていて、部品取りで利用しなければならないようなカートも利用しながら、何とか回しているというところでございます。いずれは電動カートの更新も、県としっかりと相談しながら、考えていかなければならないかなと思っています。実は昨日も、コンペがあつて1台途中で故障してしまって、動かなくなってしまったということもあってですね、そういった状況になっております。

それからネットでの予約、平日の利用はどうなのだろうねという話がありました。確かに土日の方がウェイトの方が大きいです。ただ、月が経過してきて、特に8月なんかは平日でもネットで予約がちらほらと増えてきています。これも県民ゴルフ場というものを認知していただいて楽天で予約ができるのもっともっと知れ渡ればですね、もう少し平日の予約も増えてくるのではないかなと思っています。

A 氏

よろしいでしょうか。他のゴルフ場と比べて厳しいわけですがけれども、ものすごい借金を抱えて厳しい経営の中、それでも集客をしなければならない状態で、なんとかして最新設備入れてという、もうとにかくそういう状況なわけです。そこに対抗していくことは不可能なので、健康づくりはじめ、こちらの独自のコンテンツとターゲットで良いと思う。いろいろ探りながら。今日もお客さんがいましたけれども、アンケートを取っていたようですけれども、例えばおひとりさまはゴルフ場にとっては嫌われるわけですが、料金を高く取ったりしますし。だったらおひとりさまをこちらは歓迎するかですね。アンケートにもおひとりさまですかどうかとあったようですから。こちら独自のコンテンツがあるようですから、是非頑張ってください。

座長

ありがとうございます。なるほど、逆手にとってそれを生かしていく。例えばハードコートが好きな人もいれば、健康のために手押しカートを使うという人もいます。それを利用者の増加につなげるためにその人達が来やすくするのか、もしくは増えていないのが事実であるとすれば、先ほどA委員から分析していると思うのでと話がありましたが、例えばカート以外で分析して、これがあれば利用者が増えるのではないかと、入込数が増えるのではないかとというのは、他に分析しているものはありますか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

ありがとうございます。これもお客様の声で感じている部分ではございますけれども、我々もゴルフ練習場と連携して優待券の発行とかやらせてもらっているのですが、打ちっぱなしに行く金額に若干上乘せすればここでプレーができる。したがって、起伏に富んだところで打つ練習を、平らなところではなくて、起伏に富んだところでやって頂ける。民間の立派なゴルフ場についてスコアがどうだという風になるのではなく、そこに行くための練習場として活用してもらえればいいなと考えていると話すと、そうだよねと話すお客さんも結構いる。

座長

県民ゴルフ場にはそういった方たちが増える、もっときてもらえるためにどのようにしていくかということですね。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

そうです。

A 氏

ただそのためには、ネットが必要です。僕の考えですけれども、コースが狭いので実は初心者が来られない。これが一番のターゲットとのズレなんじゃないかと思う。

座長

B構成員は如何でしょうか。

B 氏

前半いろいろ見て回って、やはり老朽化し始めているなと思ったわけですが、作られて何年目ですかね、多分おそらく、普通の公共施設であれば大規模修繕が必要な時期なのだろうと思う。それは、当然修繕していかなければならない。それは事後的な保全ではなくて、予防的に保全していかないとかえって大変なことになるのだと思うので、それは県がしっかりと予防保全していくということに尽きる。

ただ、ここに水道はもういらぬよねというのは積極的に見直して、需要があるところにしっかりと絞っていく。展望台に行くとき手すりがないので、ちょっと年寄りにはきついかなと思う。そういったところを集中して直していく必要がある。全部直す必要はないので、必要なところに必要なものという感じでしょうか。照明とかもそうだと思う。テニスコートに照明が無いようですが、時間帯によっては必要になるかもしれない。そういった数を要する部分については、しっかりと県も頑張ってもらいたい。

ソフトの面、指定管理にしている意味ですが、管理料を安くするという考え方もあると思うのですが、実際はそうではないと思っておりまして、いかにお客様が求めるサービス、お店が欲しいと思っている人もいるかもしれませんが、スピード感をもって対応するかどうか、そこが指定管理の醍醐味だと思いますので。やられている内容は非常に素晴らしいと思います。特にネット予約はこんなに早く成果が上がるとは思っていなかったもので、新しいお客さんが獲得できているということは非常に大きいことだと思う。平日少し料金下げると、まだ平日にお客さんが来るかもしれませんが、非常に良いかと思えます。何がネット予約で良いかという、データが取れるということがすよね。どういうターゲット層がどこにいるかというデータが取れるということが素晴

らしいので、どんどんデジタル化して行ってほしい。今まで紙でやっていたから、高齢者かな？というような勘やっていた経営がちゃんとデータに基づいた分析ができるのだというのは良いことだと思いますので、どんどんネット化、電子化して行ってほしいと思うのですけれども、そうすると当然広報の仕方も変わってくるのだと思う。紙とかチラシは大事ですけれども、ネットは広域なので、若い人達に向けた広報の仕方が必要と思います。綺麗な風景を映して映像で誘うのも良いと思うんですけれども、若い人たちが楽しんでやっているそういう広報の仕方もあると思う。ターゲットを絞ってやっていくやり方も良いかなと思います。

一般の公園の方については、やはり若い子ども連れがターゲットになると思うのですけれども、最近のお父さん、お母さんは子どもたちの写真を撮りたがるので、Wi-Fiが無いのは辛いかなと思う。SNSにアップできるように、全部だと大変だと思うので、東屋があるところとかWi-Fiのスポット的場所になると良いのかなと思いました。

あとは日陰が欲しいですね。子どもたちは水浴びが良いですけど、お父さん、お母さんたちが日陰でゆっくりできる場所があると良い。日陰とWi-Fiが欲しいかなと思います。やはりこうやって見ていくとターゲットが明確になってくるので、誰のためにやるのかということ、データも取れてきていると思いますので、続けてほしい。ちょっとオリンピックの影響なのでしょうか、スケボーが無いのは寂しいですね。そういった新しいスポーツ、ニーズのあるスポーツを積極的に取り入れる。ただダメだというのはなくて、積極的にチャレンジしていくということもないと、言われたことだけを履行していく指定管理ではなくて、お客さんのニーズに寄り添った指定管理に、難しくても挑戦してほしいなと思います。

座長

C氏が予定の時間があるということで、お願いします。

事務局（岩手県都市計画課）

御退出されましたので。

座長

そうでしたか。それでは、今のB構成員からの意見について。私も新しい活動、修繕等はもちろん必要だなと感じましたが、それを修繕することで新たな利活用に、利用者が増えることに繋がる施設なのかどうかという見極めも必要だなと思いましたし、例えばテニスコートで言えばハードコートの方が良いという人もいるということありますので、修繕は安全管理上必要なことではありますが、もう一つ、新たな利用者を増やすというところでは、スケボー禁止という立札があったりもしました。ということはスケボーをやりにくる人がいるということですよ。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

多分、いると思う。

コロナ前のあたりはいくらかいらっしやったようですが、コロナときに一度落ちて、今はそこまでない。

座長

そうでしたか。禁止というのが知れ渡ってなのかもしれませんが、B構成員がおっしゃったとおり、新たな活動、スケボーのコースなんかがあったら、中々無いものですか

ら、来るのではないかと思います、それこそ、ネットなんかで出したら可能性はあると思えました。何かそういったアイデア、B構成員からの意見に対して、何かあればお聞かせいただきたい。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

先ほどの広報の工夫の関係ですが、若い人たちがゴルフを楽しんでいる様子だとか、そういったところはお客様と聞いてみながら、ちょっと撮らせて頂いていいですか、我々のホームページにアップしても良いですかと、そのあたりの調整をしながら、もしできればそういった取組みをしていきたいと思えました。

それから、Wi-Fi、日陰、スケボーのコースのような話、そうなってくるとやはり建設投資を設けることとなってくるので、ここは県の方と十分話をしたうえで、そういったことを費用対効果の面でそれが今の時代、そういったものに投資ができるのかという県の判断もあるかとは思いますが、そここのところは留保だと思いますが、ただ Wi-Fi というものは、やはりどこに行っても、学校に行ってもフリーWi-Fi とかが使える状態というのがあるので、ましてや多くの人が集まるような公園の設備だとすれば、そういった主要な部分には Wi-Fi のようなものが、本来あれば、あれば良いのかなと思えますけれども、それに要する経費も掛かってくる話になるので、そのあたりは十分に検討したいなと思えます。

あと、日陰の話で言うと、東屋があるのですが東屋も上の天井が破れてしまって雨がしのげないような状況もあってですね、そういったところも全体を見回した上で、先ほどのお話じゃないですけども、大規模修繕の時期が来ているのではないかなと思っておりますので、県の方々にはつぶさに内情を見て頂いて、手を入れていただけたところには手を入れていただけるように要望は掲げていきたいと、事業団としては思います。

座長

はい、ありがとうございます。もうそろそろ終わりの時間に、15時までですよ。今後の展開に向けて何かございますか。

A 氏

こうちゃん食堂は単にテナントで賃料を頂いているというような感じですか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

テナントとって賃料を取っているわけではなくてですね、実はここの食堂経営については協定上、経営をしなければならないというのがまず大前提にございました。これまでは、なんとか経営をしていただいている事業者がいたのですが、例えば今日のように、お客様がほとんどいらっしゃらないときってというのは、ここで営業しても全然お客様が来ないということで、以前ここに入っていた食堂業者さんは撤退していかれた。ところが、我々が事業団として自主経営で食堂ができるのかっていうと、そんなことはできないので、何とかその食堂を経営していただけたところを探りまして今のこうちゃん食堂さんをやっている方にですね、ここをそのままお貸しするので経営をしていただけないかということで、この4月からなんとか来て頂いているというところですよ。

座長

感触としては続けてもらえそうなのですか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

何とかお願いしたいと思っています。今のところは良好な関係が築けているかなと私は思っているのですが、この通りお客様が非常に少ない状況です。あとは食堂の経営者の方がいろいろその惣菜とかも作ってやりたいとかっていう思いもあるようですので、いろいろ柔軟に、そここのところは我々の方でも譲歩できる部分は譲歩しながら、やっていければいいかなと思っています。

座長

その赤字分が当然ありますよね。それはこうちゃん食堂さんがかぶっているということですか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

今のところはそうです。

座長

どうですか、B構成員は。

B 氏

はい、そうですね。ジャブジャブ広場とのところで、今日水ありますかという電話の問い合わせが来るとおっしゃっていました。これやっぱりネットで常にリアルタイムの情報を流しておくってことの方が良いのかなと感じがします。やっぱり若い世代はそこを先に見るので。子育て世代にとっては、リアルタイムの情報があれば良いかなと思います。ちょっと大変だと思うんですけど。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

基本はですね、ジャブジャブ池は土日を迎える金曜日に清掃を行うこととしておりまして、暑いときは常時開放しているというのが今までのやり方でした。ところが、この間まですごく水が少なくて、湧水になって、先ほど見ていただいた水面がありましたけれどもそこも水が全然来ない状態ということになってしまって、ジャブジャブ池に水を流せる状態にはならなかった。なぜかという、鯉がいた噴水池ありますよね、あその水位もグッと下がってしまってますね、何匹か鯉が腹を出してしまう状態だった。そういう状況の中で、生物は生かしていかなければいけないということで、人間を遊ばせるよりも生物をまず基本にということで、池の方に水を全て流し、ジャブジャブ池は当面の間、湧水の状況があるので当分の間使用できませんということで、立て看板を立てて、利用できない状態にしていました。こういう雨が降ったりとかすればいくらかの沢水は戻ってくるので、そうなるジャブジャブ池の方にも水が流せるのですが、そういったことは実は県の方にもお話をして、地球温暖化、そして水がなくなってきたという状況の中、もしこういった設備、そうやって水を使えるような設備を維持していくのであれば、別の水源を探るのか、またこれ水道水でやるってわけにはいかないので、そういったあたりも今後検討していかなければならないのですよねという話は共有させていただいております。

座長

はい、わかりました。ちょっともう時間になりましたので、一つ。公園利用の中で、公園一般利用者というのが増えていますよね。これはどういう理由があるのですか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

大きくは先ほどちょっと説明しましたがけれども、春祭りのときの人数というのが増えているというのが一つ大きな要素だと思います。それからあと、この間の会議のところでお話をしたと思うのですけれども、我々の一般公園利用者のカウントの仕方というのはこの駐車場の車の台数で、カウントしていました。それが昨年度から1台あたりにかかる係数というのを見直してですね、令和4年と令和5年度では相当落ち込みが激しかったのですが、その係数を見直したために。今年は同じ係数でやっておりますのでそれが平準化されてきているという部分に、さらにさっき言ったようなお祭りのときに人数がプラスになっているために、一般利用者が増えているというような形になっています。

座長

これは収益とはどう結びつくのですか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

一般の利用者の収益っていうのは、その人たちが例えばエンジョイスポーツでバレーボールを借りていきましたとか、卓球台を利用しましたとかっていうと、それが若干プラスに繋がりますが、直接的には大きく寄与するということは無いです。

座長

はい、わかりました。もう時間ですね。委員の方々から一言ずつお願いします。

A 氏

はい。色々変化の激しい時代ですが、近隣住民のスポーツレクリエーションというのが一番の目的だったと思うのですが、それは残しつつも、ここに固執しているとなんとも維持運営が難しいと思うので、陸前高田のモビリオではないですけども、もう取組み始めている路線、いろんな関係者と連携してですね、特に花巻が一番岩手県で観光客集めているところなので、やっぱり花巻温泉との連携、初心者向けのゴルフ宿泊パックではないですけど、金矢温泉さんとかとやっていらっしゃいますけれども。やっぱり観光を意識してほしいなと思う。観光客を受け入れるという目的でできた施設ではないわけですから、状況を見るとそういうことも考え頂きながら、今の路線で結構だと思いますので、ぜひ頑張っていただければと思います。以上です。

B 氏

はい、やっぱり経営ってデータが非常に大事になってきますので、やっぱり今みたいに車×係数ではなくて、やっぱりスマホのGPSデータから男性なのか女性なのか、何歳ぐらいなのかっていうところで人数と属性を把握して、それを経営分析に使うということになれば、なお良いのかなと思いました。

座長

今出ました金矢温泉さんとの連携ですが、これはどういったことですか。

指定管理者（公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団）

金矢温泉パックというような形ですね、ゴルフパックみたいなものを用意しています。花巻温泉の方ともいろいろ話をしたことが実はあります。これは実は、コロナの頃には旅行パックとゴルフが一緒になってやっていたのがあったらしくてですね、そのときはやはりここではなくて他の民間のゴルフ場であるとかそういうところのパックがあったらしいです。行政からの補助金が出されていたときには、非常に多く利用されていましたが、ところがその補助金が途絶えた途端に、そのゴルフパックの利用者がゼロになったというような情報を聞いていまして、ちょっとそれをやるには我々の方でも、厳しいのかなと思っていました。ただ、違ったところでいろいろ花巻温泉さんの方とはいろいろ連携がありますので、そういった花巻温泉に来たお客様がこっちになんとかこう流れて頂けるようなことも、これからいろいろと検討していきたいと思います。

座長

それから楽天の効果がでてきているようですけれども、宿泊をするとなるとじゃらんとかは結構大きいです。私も関わっているようなところでは、それで来ている、すごく来るようになった。ただ手数料はしっかりと取る。その分、逆に今度は利用料に上乘せしてでも来るというような状況もありますので、そういったやはり宿泊や温泉で休みがてらスポーツに来るとか。あと、ここ来てみて思ったのですけれども、この景観ですね。スポーツだけではなくて、景観なんか落ち着くよねってあると思う。手入れもしっかりされている。その価値ってあると思うのですよね。県民の憩いの場としてできたが、観光地としてもいける。そういう景観づくりを生かして、行ってみよう、家族でぶらぶらと遊んでみよう、子どもたちを原っぱで遊ばしてみようみたいなことでの利用。御所湖広域公園なんかはそういう利用が多いわけですから、その価値があるなと感じました。それには Wi-Fi も必要であろう、そうであれば、食堂では Wi-Fi できますよ、じゃあ食堂ってコーヒーでも飲みながら Wi-Fi するかとかね、ラーメン食いながらするかとか、そういう売りに上げる場面にも役立つのではないかな。使う場所を決めれば。

あとさっき食堂で外の景色見ながらコーヒーでも飲もうかなと思っていたら、花を飾ってあったのですねベランダに。食堂のおばさんにこの花は誰が活けているのですかと尋ねたら、私が活けていますと。そしてそれはボランティアですと。やはり地域を大事にしようと思う人たちが働いているっていうのは素敵だなと思いますので、そういうのも生かした上での場所の魅力発信、魅力づくりが良い。ですから、こうちゃん食堂にぜひ続けてもらうのがいいなと思うので、そこが収益になるような取り組みも必要だと思います。あそこって、景色見ながら何か食べようかみたいなこともあって良いのではないかな。ざるそば食べましたけど、例えば賢治のゆかりであれば、そばとサイダーで賢治セットとかね。それはどうでもいい話ですけど、何かそういったアイデアも。いろいろなアイデアも既に出して取り組んでいるので、そういったことも続けてもらえば、広げてもらえばいいなと思いました。

あと今日いろんな委員の方からも出ましたが、大きくはやはり時代の変化の中で、やはりニーズが変わる中で、その場所をどうしていくかビジョンづくりですね。将来この場所を、維持するなり変えていくなりにはお金がかかる。かかるとしても限度がありますよね。じゃあどうしていくか。何年後のこの施設はどういう施設になっていくといいのか、どういう利用があるのか、10年後、20年後、50年後まで考える必要があるかですけれど、将来像、ビジョンをしっかり作った上で、じゃあここは直そうとか、ここには力を入れて新しい施設を作ろうとか、何かそういったビジョン作りを一回しっかりするのは、これはもちろん県も含めてですけども、必要ではないかと感じました。

でも非常に良い取り組みをしているなと思いましたので、引き続き活動を続けていただ

ければと思います。

それでは、以上で議事を終了いたします。皆様、円滑な進行に御協力いただきまして、ありがとうございます。それでは事務局に進行をお返しします。

事務局（岩手県都市計画課）

座長から構成員のみなさま、大変ありがとうございました。最後に総括課長の澤田から謝意をお話させていただきたいと思います。

事務局（岩手県都市計画課・澤田総括課長）

今日は暑い中、本当にこの環境で議論していただきありがとうございます。頂いたご意見とかですね、我々県としても花巻土木センターさんと連携して取り組んでいるところなんです。頂いた意見も、実はもう既にやっているところもありますので、都合はありますけれども、計画的に取り組んでいきたいと考えておりますし、いずれ利活用についてはですね、今後も取り組んでいきたいと思っておりましたので、今日は本当にありがとうございました。引き続き1月になりますけれどもよろしくお願いします。

事務局（岩手県都市計画課）

それでは事務局の方から最後に一点事務連絡がございます。次回の会議につきましては、来年1月を予定しております。詳しい日程につきましては、後日担当の方から皆様の方に調整させていただきたいと思います。

最後になりますけれども、皆様からこの際、議事以外のことで何か運営とかお気づきの点等ございましたでしょうか。

もし、あとでお気づきの点等ございましたら、事務局の方にお声をかけていただければと思います。

それでは以上を持ちまして、令和6年度第1回県立都市公園利活用等推進有識者会議を終了いたします。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。